

■編集・発行: ATTAC-Japan(首都圏)= 市民を支援するために金融取引への課税を求めるアソシエーション
ATTAC = Association for the Taxation of financial Transactions for the Aid of Citizens
■〒113-0001 東京都文京区白山1-31-9 小林ビル3F ピースネット気付 ■Tel:03-3813-6492
■Fax:03-5684-5870 ■郵便振替: 00150-9-251494 加入者名:「アタック・ジャパン」
■ e-mail= attac-jp@jca.apc.org ■ URL= <http://www.jca.apc.org/attac-jp/>

韓国からアジアの人々への行動の呼びかけ

→アジア民衆に6月WEF東アジア会議反対行動に結集するよう呼びかける
<行動呼びかけ第1号>

私たちは、アジアの社会および民衆運動団体に世界経済フォーラム(WEF)東アジア会議反対行動に結集するよう呼びかける。

イラク占領に反対して3月20日に行われた国際的動員は、新自由主義的グローバリゼーションとミタリズムに対する世界の民衆の抵抗がこれまで以上に強化されていることを示した。韓国民衆はグローバリゼーションとミタリズムに反対するグローバル闘争にも積極的に参加している。

私たちは、アジア民衆の連帯および統一の強化に貢献できる行動を提案する。

2004年6月13～15日、世界経済フォーラム東アジア会議(アジア戦略インサイト・ラウンドテーブルと命名されている)が、「アジアの繁栄と平和」というスローガンのもと韓国ソウルで開催される。世界経済フォーラムは世界のトップエリートたちの排他的フォーラムであり、その東アジア会議は、貧困を深刻化させ、アジアの労働者および民衆の権利を悪化させているにも関わらず、資本の国家間移動をより自由にするために一連の課題について討論する場となる。特に、この会議に集まった企業および政界のエリートたちが、昨年9月WTOカンクン閣僚会議の失敗後、頓挫している多国間貿易交渉、ならびに二国間および地域間自由貿易協定を促進させるための手段について討論するものと見られている。

また WEF 東アジア会議は、朝鮮半島の核兵器危機という口実のもとに、帝国主義勢力がアジア地域に対する軍事支配拡大のための作戦を練る場にもなるであろう。アジアは、資本の利益を守るために軍事戦略を実行している米国およびその軍事的同盟国にとって重要な地理的・政治的意味を持っている。最近、イラクの戦争と占領とともに、「対テロ戦争」という外交原則(ドクトリン)がアジア地域の軍事的緊張を高めて

いる。WEF東アジア会議は6月13日から始まるが、この日は、米軍車両によってひき殺された2人の女子中学生、ミョスンさんとミセオンさんの2周忌にあたる。6月13日を迎えるにあたって、私たちは、再び米国と帝国主義者の暴力と抑圧を思い出す。

これらの政治的文脈のもとで、韓国民主労総、韓国農民連盟、韓国都市貧民連合、FTA & WTOに反対する韓国国民運動、韓国民衆連帯、ならびにその他の運動団体および組織は WEF 東アジア会議に対して大規模抗議行動に結集する。我々は、この闘争が、韓国人のみならず、新自由主義およびミタリズムに反対するすべてのアジア民衆の抵抗を強化するための足がかり(モメンタム)になるであろうと期待している。

アジアの姉妹兄弟たち、ならびに世界のすべての人々に、我々は、6月12～13日の WEF 反対闘争のために支援と連帯を呼びかける。さらに、私たちは、6月14～15日にすべてのセクターのアジア社会民衆運動団体会議の開催も提案する。

闘争をグローバル化しよう!

希望をグローバル化しよう!

2004年4月14日

連絡先:

韓国民主労総国際部部长イ・チャンゲウン(李昌根)

Tel: 82-2-2636-0165 / Fax: 82-2-2635-1134

e-mail: inter@kctu.org



◆◇6月13～15日（12日前夜祭） 韓国・ソウル◆◇

～世界経済フォーラム東アジア会議への対抗行動・
社会運動総会への参加賛同の呼びかけ～

昨年9月カンクンでの第5回WTO閣僚会議が頓挫してから、日本政府は東アジア規模の自由貿易協定(FTA)を進めようとしています。FTAはWTOルール以上に私たちの生活といのちに大きな影響をもたらしますが、その問題性、危険性に異議申し立てをし、また各国の労働者、農民、消費者が分断・競争させられ対立しないために、市民・社会運動団体どうしの連帯と共同行動が求められています。

また、今日経済のグローバル化を進めるWTOやFTAの問題性と並んで、米国や英国のイラク侵略・占領に現れているように軍事のグローバリゼーションが危機的段階に達しています。アジアでは朝鮮半島をめぐる現れています。私たちは米英軍ならびにそれに加担している日本自衛隊のイラクからの撤退を求めるとともに、朝鮮半島の非核・平和のための行動、南北統一を求める運動との連帯を強化していきたいと思えます。こうした中、昨年末からの日韓FTA政府間交渉に対し、日本と韓国の市民・社会運動団体が共同して反対の声明を上げ行動に取り組んできました。その韓国側の団体であるKoPA(自由貿易協定・WTO反対国民行動)から、この2月に次のような提案が寄せられました。それは、6月13日から15日かけて、韓国ソウルで「世界経済フォーラム東アジア会議」が行われるが、これに対抗しての13日抗議行動(12日反戦集会ならびに前夜祭)と「アジア社会運動総会」(14～15日)を開催したいというものです。

世界経済フォーラムとは通称ダボス会議といわれ、経済のグローバリゼーションを推進するため経済界や政治家のエリートたちが集うフォーラムです。その東アジア会議ということで、各国から600人もの閣僚クラス政治家や経済界のトップなどが集まる予定となっています。

<「6月ソウル行動」実行委員会賛同団体>

脱WTO草の根キャンペーン実行委員会、「異議あり！日韓自由貿易協定」キャンペーン(以上事務局団体) アジア農民交流センター、ATTAC Japan、ATTAC関西グループ、(株)オルター・トレード・ジャパン、在日韓国民民主統一連合、全日本農民組合連合会、特活AMネット(Advocacy and Monitoring Network on Sustainable Development)、中小労組政策ネットワーク、日韓民衆連帯全国ネットワーク、日本消費者連盟、ピープルズプラン研究所、山谷労働者福祉会館、フォーラム平和・人権・環境(4月20日現在)

ところで、同期間のうち6月13日は、駐韓米軍の装甲車によって韓国のふたりの女子中学生が轢殺された事件の2周年、6月15日は2000年に南北共同宣言が発表されて4周年に当たります。したがって、この期間韓国では反戦平和と南北統一、そして経済のグローバル化に異議申し立てする運動などが合流し、大規模な社会運動として盛り上がるのが予想されます。

さて、14日、15日両日開催される「アジア社会運動総会」については、韓国の反グローバル化団体側から、概略、次の3項目の提案がされています。①香港で開催予定の第6回WTO閣僚会議に対抗するためのアジアにおける活動と戦略、②アジアでの経済のグローバリゼーションに対する社会運動の活動と戦略、③アジアにおける反戦・平和の運動と戦略、というものです。

この提案を受け、4月20日、日本のNGOや社会運動団体は6月の「世界経済フォーラム東アジア会議への対抗行動とアジア社会運動総会」(通称、「6月ソウル行動」)への参加を決定し、そのための実行委員会を立ち上げました。その取り組みですが、①ソウルへの派遣団を日本の多くの市民・社会運動団体から募る(またソウルに実際行けなくても趣旨に賛同する団体も募る)、②この間WTO問題や国際協力等で連絡が取れるアジアの市民・社会運動団体へも参加を呼びかける、③その過程で韓国側提起の総会内容を中心に論議を進める、などを考えています。経済と軍事のグローバリゼーションに異議申し立てをしている諸団体の参加・賛同をよろしくお願いします。

「6月ソウル行動」第3回実行委員会
日時:5月29日(土)午後6時半～
場所:総評会館501号室

◎賛同金:団体一口3000円、個人一口1000円

東アジア&東南アジア貿易キャンペーン戦略会議

ポジション・ステートメントおよび行動計画(2004年4月26~27日)

貿易自由化の進行状況について討論し、それに反対する共通アジェンダ(課題)を作成するために、東アジアおよび東南アジアの10カ国から活動家たちがバンコクに集まった。とりわけ私たちが強調したことは、直ちにWTOの農業交渉を阻止しなければならないこと、地域を越えて民営化に反対する強固な闘争を組むこと、ならびにイラク占領に反対して帝国主義者のグローバリゼーションに反対するグローバルな運動を作らなければならないということであった。

<農業と漁業>

- * 農業と漁業の輸出志向モデルは、農民と漁民の生活を向上させていない。このモデルは深刻な飢えをもたらし、農村および漁村コミュニティを窮乏化させ、破壊している。
- * 私たちは引き続き農業および漁業からWTOを追い出すキャンペーンを行う。
- * 私たちは農業と漁業、ならびに零細農民と漁民の生活を守るための権利を各国に要求する。
- * 私たちはダンピングの即時終了、およびダンピングをもたらす先進国の国内輸出支援システムの廃止を要求する。
- * 私たちは多国間であれ、二国間であれ、漁業の自由貿易協定に反対する。
- * 私たちは新自由主義的農業および漁業政策に対するオルタナティブとして人々の食物主権を主張する。

<"G20"諸国>

- * 私たちは、G20の登場はWTO内においてEUおよび米国に異議を申し立てる勢力であると確認する。私たちは、G20が平等ではない力関係を暴露し、さらにWTOの正当性を否定する存在であることを知っている。
- * 私たちは、アグリビジネスを推進して零細農民および持続可能な農業を破壊する農業に対するG20の中途半端な態度を認めない。
- * 私たちは、G20が農業の自由化に関する中途半端なアジェンダに固執するなら、G20は途上国のオルタナティブ政策を主張する歴史的な機会を逸することになると考えている。
- * グローバルな市民社会は、WTO内の政治力学は

新自由主義イデオロギーに基づいていることを確認しており、引き続き人々のための政策およびWTOを失敗させる努力を推し進める。

<民営化>

- * 私たちはタイの労働者および市民社会の民営化反対闘争を支援する。それは、私たちが地域で民営化反対行動への動員を呼びかけるときに強力な力になるものである。
- * 民営化は効率と透明性という名のもとに実行される。しかしながら、各国共通の経験から、民営化は広範囲な失業、汚職、透明性の欠如、利潤追求、価格上昇をもたらすことが明らかであり、サービス・アクセスと効率の向上に役立っていない。
- * 私たちは、健康、教育、水、電力などの公共サービスに対する人々の民主的管理およびアクセスを防衛する。公共サービスへのアクセスは基本的権利であり、これを保証するのは国家の責務である。サービスは、支払能力ではなく、ニーズに基づいて提供されなければならない。
- * 今、WTOとGATSは重大な脅威になっている。WTOとGATSは民営化プロセスを加速させ、民営化を逆戻りできないものにするルールと紛争解決メカニズムを確立する。
- * 私たちは、土地、水、森林、種子、漁場などの天然資源の民営化を認めない。民営化は人々の生活および世襲財産を奪い、生態学的な生存を脅かす。

<FTA(自由貿易協定)>

- * 私たちはFTA(自由貿易協定)に反対する。新自由主義的アジェンダを推進するために使用される手段の一つであるからである。FTAはWTO協定に先行して進み、自由化プロセスを強化している。
- * 私たちは、いつ、いかなる場所であろうと、すべてのFTAの破綻を求める。
- * 私たちは情報と戦略を交換するネットワークを確立して、地域的なFTAキャンペーンを開始する。

<反戦運動>

- * 戦争は新自由主義的グローバリゼーションの延長であり、したがって、私たちは新自由主義的グローバリゼーション反対運動と反戦運動との結合を強化す

る。

* 私たちはイラク占領の中止を要求し、ならびに各国政府にイラクから軍隊を撤退するよう要求する。

* 私たちは戦争による暴利取得を糾弾する。

* 私たちはイラクに対する12年間の経済制裁、およびイラク戦争と占領による破壊に対して、米国とその同盟国は全面的に賠償しなければならないと主張する。

* 私たちは主権ある国家を防衛するイラク人の権利および自己決定権におけるイラク人の権利を支持し、ならびに私たちはイラクの民主化勢力との私たちの連携をより強化していく。

<共同行動>

→6月12～15日、世界経済フォーラム 反対行動

私たちは、2004年6月ソウルで開催される世界経済フォーラム(WEF)に対して韓国の社会運動団体が発信している反対行動への結集呼びかけを支持する。

→6月14～15日、アジア民衆社会運動総会

私たちは WEFと並行して開催されるアジア民衆社会運動総会の呼びかけも支持し、私たちのネットワークおよび運動団体は6月12～15日にソウルに結集する。

→2005年、香港WTO閣僚会議

私たちは香港に結集して、WTOの正当性を否定し、かつWTOを破綻させる。

私たちはこの機会を利用して、中国労働者階級に対する新自由主義、民営化、およびWTO協定の影響を暴露していく。私たちは中国労働者階級の闘争との連帯を表明し、かつ彼/彼女らの団結権を支持する。私たちは行動と動員の計画および組織化を先頭に立って進めている香港委員会のイニシアチブを歓迎する。私たちはこの計画を実現するために、今後何ヶ月間か同委員会とともに作業をしていく。私たちはソウルのアジア民衆社会運動総会で再会する。

賛同団体(2004年4月27日現在)

- Alliance for Progressive Labor (APL), Philippines
- Asia Pacific Forum on Women, Law and Development (APWLD)
- Asia Pacific Mission for Migrants (APMM), Hong Kong
- Asian Labour Network on IFI

- ATTAC Japan
- Center for Labour Information Service & Training (CLIST), Thailand
- Democratic Socialist Association, Indonesia
- Fair Trade Alliance, Philippines
- Focus on the Global South
- FSPI/ Via Campesina, Indonesia
- Global Network
- Globalization Monitor, Hong Kong
- Globalize from Below, Korea
- Hasatil, Timor Leste
- Hong Kong Confederation of Trade Unions (HKCTU)
- Institut Ungu, Indonesia
- Institute of Global Justice, Indonesia
- International Gender Trade Network in Asia
- Kilusang Mangingisda (KM), Philippines
- Korean Confederation of Trade Unions (KCTU)
- Korean Peoples Action Against WTO and FTA (KoPA)
- KPBH ATMA, Indonesia
- La'õ Hamutuk, Timor Leste
- Northern Peasants Federation, Thailand
- Philippine Peasant Institute (PPI)
- Port Authority Labour Union, Thailand
- Public Services International (PSI)
- Rural Reconstruction Alumni and Friends Association (RRAFA), Thailand
- SAGE, Japan
- SEARICE, Philippines
- Southeast Asian Council for Food Security and Fair Trade (SEACON)
- Southeast Asian Fisheries Network for Justice
- Thai Action on Globalization
- Thai Local Whiskey Network/ Via Campesina= Thailand
- 脱WTO草の根キャンペーン, Japan



～イラクでの日本人NGO活動家への 拘束・解放後のバッシングについて～

もう一つの世界を求める私たち VS グローバルな戦争を 推進する者たちとの闘い！！

アタックはじめ日本のNGOが世界のネットワークを通じて、拘束された5人の仲間の本当の姿とイラク反戦・自衛隊派遣反対の願いを伝えることができ、5人の拘束から解放へと至ったことは、ひとつの歴史的な事件です。日本政府は何もやらず(できず)、5人を見殺しにするつもりでした！それに対して、5人を救うための民衆サイドのネットワークは世界中を駆けめぐりました。

私自身、当初から世界社会フォーラムに関わり「もう一つの世界は可能だ！」と言ってきた割に、最近ではフォーラムの巨大化の弊害が指摘され、私もその批判はある程度否定できないと思っていました。もう一つの世界までには、まだまだ深く長い河があると思っています。しかし、今回の展開を期に少なくとも「もう一つの民衆ネットワークは可能だ」とはっきり言えるようになりました。巨大マスコミのネットワークとはまったく別の、真実の、そして顔が見える関係の民衆ネットワークです。もちろん、過去4回にわたるWSF開催が生み出してきたものです。この様な展開は、多国籍企業と帝国主義が政治経済のグローバル化を進めつつ、テロとの闘いの名の下に世界中で戦争を起こしているこの時代の中で、これに対抗する私たち民衆の闘いをグローバル化し、「もう一つの世界は可能だ」という希望をグローバル化するための本当の実例となった気がしています。

ところが、戦争遂行者たちはこの様な「もう一つの世界」を絶対に許容できないのです。「テロリストとのつながりが臭う」だとか「自作自演」などとバッシングし、あげくは政府が公務で行ってきた自称「救出努力」についても何十億円の税金が費やされたなどとこじつけ、「自己責任」キャンペーンを繰り広げたのです。ここに民衆ネットワークへの彼らの焦りと憎しみが見てとれます。まさに、私たち「もう一つの世界を求める者」(オルタ・モンディアリスト/オルタナティブ・インターナショナル)とグローバルな戦争を引き起こしている帝国支配者たちとの闘いに入ってきたことを私たちは自覚しなければなりません。(文責:清水)

参考までに、4月25日行われたATTAC Japan(首

都圏)第3回総会での関連討論要旨を引用します。

(O1)反戦平和運動のひとつの転機を迎えている。イラク人質事件にあらわれた自己責任論を基礎にした弱者バッシングをどう見るか。経済と軍事のグローバリゼーションの底にある心／価値観のグローバリゼーションを問題視する必要がある。権力側の煽りになり、その言質を助長していく構造が生まれた強者と弱者、弱者たたき、国家への依存という現代的な問題にわれわれの声を届けねばならない。デモの動員数などでは図れない質の問題である。文化という問題を含めた戦争問題、人々の心に届く運動を工夫しなければならない。映像・写真・文学・民衆のジャーナリズムといった運動とリンクしあい、作り上げていかねばならない。

イラク自衛隊派遣問題のさきがけとして、有事法制の諸立法が超法規的状態になり憲法棚上げ状態をつくるため、基本的人権も否定される。それをグローバル化する構造の中での闘いであるとするならば、われわれの運動を憲法の問題と繋げて展開する必要もある。

(T)価値観のグローバリゼーションの意味が不明。この問題はきわめて日本的なものであろう。自由化・金銭本位のグローバリゼーションの存在はあるが、今回の人質事件への日本の論調を考えるに、それを打ち破るという問題とは別であろう。また、リンクとソリダリティの問題は別であろう。憲法問題を中心にするのは当然としてもWPN参加者を見るに実現できそうもない。

(K)3人へのバッシングは想像以上にひどかった。アタックなどの活動によって、政府ができなかった誘拐グループとのコンタクトと救出は可能になったのは上々だったと思う。若い人が中心に動いて、政府には勝利したという点で希望は残ったのではないか。また、やさしさのグローバリゼーションを実現できたのではないか。評価はまだ先に出るだろう。

(Y) 今後マスコミ、文化とのネットワークづくりが重要であろう。しかし、バッシング世論に対して、現実にはグローバル化運動のなかでの新しいネットワークが今回を動かした。かつての資本主義の枠組みに対するオルタナティブはないともうひとつの側面があらわれ、新しい運動の姿が動向の中で現れつつあるのではないかという印象を持った。そういった成果を確認した上で、運動を構築していくべきである。

(S) アタックを初めて知ったときより思ったより大きく動いているので関心をもった。今まさに問題になっている人質バッシングについて話したい。

物事には裏があり、グローバルズムに対抗するのにイスラムは宗教を、途上国は国家民族を持ち出す。アタックは共同体を引き合いに出さないのがよい。半面、アジア市民的共同体を持ち出さないのは感応的な共感を得られないだろう。

(O2) 自己責任論は、新自由主義的イデオロギーがつながっていると同時に「お上に逆らったやつらへの見せしめ」でもある。グローバルな価値観と日本的な価値観が融合した形で構成されていると思われる。ではわれわれが、どちらかに絡めとられないようにグローバル化しなければならない価値観とは何なのかを提示しなければならない。日本の人々にとってわかりやすく表す方法が見つからないが、考えていかなければ…。グローバルなもの日本土着の考えが合わさって権力の言説が成立している。われわれがそれに対抗するためには相当考えなければならない。それは憲法かもしれないが、どのような打ち出し方をするかを考えなければならない。

(E) 「もうひとつの世界は可能だ」というスローガンをお題目のように繰り返していれば何かが出てくるのではなく、もうひとつの世界は何かを討論し作り上げていく段階にきている。イラク内戦がイラクの人々の「テロ」でなく、民衆の自己解放・レジスタンスであったからわれわれのメッセージが届いた。そこにつながる国際的レジスタンスであるからこそ解放されたと考える。イラクの人々の考えと結びついたこと、イラクの人々に感謝したい。

(O1) 自己責任論による人質バッシングを特殊日本的であるというが、私が農民の闘争、村づくり、労働運動を見てきた中で、人々の気持ちにこういう流れが表

れたのは初めて体験した。ゆえにこの問題はきわめて現代的であると考え。この根底にあるものはグローバル化であり、これを特殊日本的であると捉えてしまえば議論が深まらない。日本の社会的な流れよりも本質的な問題はグローバル化であると思う。

(K) 自己犠牲的に危険を恐れず赴いた人を軽蔑する日本の論調と、「勇敢な人を責めるべきではない」という欧米マスコミの価値観の違いである。正義というものの価値観が崩壊していることであらわれではないか。運動を大きくし世の中をよくしていくためには、正義の復権が求められると思う。正義の体現者でありつづけ、もっとも人権と民主主義を表現していくのはわれわれであるということ世に知らしめるべきである。アタックに関わるひとりひとりがその動きをともに作っていく。

◆ATTAC Japan(首都圏)第3回総会報告

ATTAC Japan(首都圏)第3回総会が、去る4月25日(日)、渋谷区の代々木区民会館にて行われた。同じ日に都内で他イベントが行われたこともあり、参加人数は34名。会議長は昨年と同じく、中小労組政策ネットワークの遠藤一郎氏。

遠藤氏の挨拶で始まり、続いて昨年度の経過報告、さらにイラクにおける日本人拉致事件と解放に至るまでのATTACの動向と、海外NGOとのネットワークに関して総括的報告が行われた。

2004年度運動方針案では、ATTAC北海道設立報告、そして新設部会として移住労働者研究会、女性部会の設立を提案。

その後、議論の時間を設けられ、ATTAC運動全体に関する意見・質問など活発な意見が飛び交った。今回、総会出席会員が少人数であることを鑑み、成立要件、欠席会員の委任状など、総会の手続に関する検討を望む声が聞かれた。静岡から参加した会員の方からの発言もあり、特に人質事件における「自己責任論」をめぐる、今後ATTACをはじめ日本のNGOがとるべき反戦運動の方向性を模索する、充実した議論となった(前述)。

最後に、第2期運営委員信任選挙が行われ、8名が信任された。新運営委員の一覧は以下の通り。

◆新運営委員(五十音順)

秋本陽子 / 稲垣 豊 / 栗原 学 / 酒井克明 / 清水政夫 / 日野正美 / 三井加洋子 / 山口 啓

☆☆国際社会に向けたイラク民衆との連帯の呼びかけ☆☆

「私たちは、世界の人々が占領に反対して連帯の行動に立ち上がっていることに耳を傾ける必要がある」

占領は分断と混乱を生み出す。

私たちの国を占領している軍隊は、いまだに、彼らが目的としている安全も自由も繁栄ももたらしていない。それどころか、イラク民衆は失業、インフラの壊滅、貧困に引き続き喘いでいる。人権は侵害されている。ここでは、女性や子供たちが理由なしに逮捕されている。そして無実の市民が無作為に殺されている。米軍はイラクに破壊とテロリズムだけを持ち込んでいる。彼らは混乱、国の分断と非統合に着手した。

この30年以上もの間、イラク民衆は、最初は残虐な独裁者に、次に犯罪的な経済制裁に喘ぎ、そして、今は占領に喘いでいる。そして、その間、時代は違っても、独裁者を支援してきた同じ国や政府が、経済制裁を組織し、そして今、この国を占領している。

今こそ、私たちは自由と平和への道に戻るべきときである。今こそ、私たちの国は独立を回復すべきであり、イラク民衆が、強要や介入、支配を受けることなしに自由に自分たちの未来を決定できるべきときである。今こそ占領を終了すべきであり、米軍およびその同盟軍は去るべきである。

3月20日に世界的に行われるデモの目的は、私たちの自由と独立を支援することである。このデモは3月19日に予定されているイラクのデモに続けて行われる。3月19日には、あらゆる宗教と民族グループのイラク人たちが、占領を排除して、同じ権利を持って、一緒に生活していこうという意思を表明するために共に行進を行う。

そして、今、イラク民衆は混沌の中で生活しているが、私たちは同時にパレスチナやチェチェンの兄弟姉妹たち、さらにすべての抑圧された人々たちのためにも行進する。私たちは、帝国主義、植民地主義、レイシズムの悪魔から解放された正義の世界にある自由なイラクを求める。

この平和行進は、イラクの戦争と占領の開始日における国際連帯行動への呼びかけでもある。私たちは皆さんの声を聞かなければならない。

私たちは、世界の人々が占領に反対して連帯行動に立ち上がっていることに耳を傾ける必要がある。

イラクの自由と独立のために…

独裁政権はいらない！テロリズムはいらない！占領はいらない！



イラクにおける3・20世界反戦同時行動の前日集会
<賛同団体・個人> (2004年3月19日現在)

- Movement of the Panabic Current
- Democrat Reform Party
- Imam Al khalissy University
- Iraq Our Home Gathering
- Christian Democrat Party
- Iraqi Turkmenian Movement
- Gathering of tribes of Nynawah/ Ahmed Ali Al Ali
- United Labors Unions
- Unity Forum
- Tribes of Al Sadr City
- Al Sheikh Zamal Finjan El Attawany
- The Diwan assembly of the Al Sheik Jabar Hussein Al Khazragy
- Al Imam Sistani Bureau/ El Hurrayh/ El Sheikh Hassan Al Sudani
- Al Shaid Al Sdr Bureau/Bagdad/ El Sheikh Safa Al Timmymy
- The Islamic Bloc/ Sheikh Mohamed El Alosy

-Muslim Oulema Comitee
 -Ayatollah El Sheikh Abd Alridha Al Jazairi/
 Bassorah
 -Liberation Party/ Dr Azzam
 -Nassyrien Socialist Party
 -United Islamic Movement
 -Ayatollah Sheikh Kassem Al Tai
 -Sheikh Moyed Al Athamy
 -Islamic Movement/ Akram Kassem
 -Sheikh Zoba Thiab El Irssam on behalf of
 Zobaatribes
 -Sheikh Khaziraj Amr El Khaziraji on behalf of
 Khaziraj tribes
 -Sheikh Albu Mohamed on behalf of
 Albutribes

-Sheikh Hashem Surrot
 -Sheikh Salah Farik al Faroon / Al fatla families
 -United Nassyrien Party/ Zaydan Khalaf
 -Ayatollah El Sayyed Ahmed El Hassani El
 Bagdadhi/ Najaf
 -Ibrahim El Moudharessi
 -Comitee of Religious Alim of Iraq
 -Islamic Unity Movement/ Abdel Satar Jabar
 Ayoub/ Bagdad
 -National Unity Movement/Dr Ahmed El kobeyssy
 / Dr Abdelrazac El Hity
 -Between Two River Assyrien Party
 -Turkman People Party
 -Iraqi National Democratic Current / khodr al
 azzawi

<行動への呼びかけ>

5月21日(金)STOP! 有事法制、守ろう! 平和といのち5・21大集会/午後6時半~/明治公園/
 主催:陸海空港湾20労組ほか
 5月22日(土)もうはじまっている監視社会-ストップ・サイバー・ゼノフォビア/午後1時半~/東京・
 ハーモニックホール/主催:移住労働者と連帯する全国ネットワーク
 22日(土)日本政府の戦争支持撤回・自衛隊撤退を訴える討論集会/午後6時~/文京区民センタ
 -2A/主催:「共同声明」呼びかけ人
 22日(土)ATTAC三鷹カフェ:イラク占領の実態(ビデオ・解説)/三鷹市市民協働センター tel/0422
 -46-0048 三鷹市下連雀4-17-23
 5月28日(金)自衛隊はイラクから撤退を 有事関連7法案を廃案へ5・28大集会/午後6時半~/日
 比谷野外大音楽堂/主催:平和フォーラムほか
 5月29日(土)6月ソウル行動」第3回実行委員会/午後6時半~/総評会館501号室
 5月29日(土)-30日(日)第5回移住労働者と連帯する全国フォーラム2004・福山
 6月1日(火)ATTAC Japan移住労働者研究会(第1回)/午後6時半/文京シビックセンター3F-A
 6月12日(土)~15日(火)世界経済フォーラム東アジア会議対抗行動・社会運動総会/韓国ソウル
 6月13日(日)イラクにも朝鮮半島にも平和を! 6・13日韓共同行動/午後1時集合・1時30分開会・
 3時デモ出発/東京・南池袋公園(池袋駅南口・徒歩4分)/主催:集会実行委員会(日韓ネット)/
 協力:ワールド・ピース・ナウ

**6月8日ATTAC Japan
 2004年度 第一回例会**

日時:6月8日(火)午後6時半~
 場所:文京シビックセンター地下2F
 (消費生活センター)研修室B
 【テーマ】「6月ソウル行動へ行こう!」
 ・韓国政治の現況... ・世界経済フォーラム
 東アジア会議とは? ・アジア社会運動総会
 予定詳報 ・6月ソウル行動日程

